

妻ハルと村岡花子 結ぶ縁

社会運動家の賀川豊彦(1888～1960年)の妻ハル(1888～1982年)と、NHK連続テレビ小説「花子とアン」のモデルになった翻訳家、村岡花子(1893～1968年)の人生をたどる特別展「花子とハル展」が、賀川記念館(神戸市中央区)で開かれている。実は遠い親戚にあたる2人。ドラマにハルは登場しなかったが、同館は「ともにキリストの教えに支えられ、困難を乗り越えながら生きた2人を知ってほしい」と話している。

【宮嶋梓帆】

神戸 賀川記念館で特別展

神奈川県横須賀市出身のハルは、聖書などの印刷を手がける「福音印刷」社長 勤務していた父の神戸工場



村岡花子と賀川ハルの足跡をたどるパネルに見入る
来場者ら—神戸市中央区の賀川記念館で

キリスト教支えに人のため尽くす

ドラマにない逸話 紹介

への転勤に合わせて神戸に移り住み、自身も工員として働いた。1911年、工場に賛美歌の指導に来た賀川と出会い、2年後に結婚。ともに貧困層の人々の生活改善に取り組んだ。

2人が遠い親戚にあたることは、関係者の間でもほとんど知られていなかった。会場では、ともに貧しい家庭に育った2人の生い立ち、キリスト教との出会いや神の愛に疑問を感じる様子、それぞれの夫との手紙のやり取りなどを紹介。

企画者の一人で、同館で「語り部」として活動する横井幸雄さん(76)は「テレビに登場した家系図を見てびっくりしたが、人のために尽くしたということが共通点。2人のひたむきな生き方に触れてもらえれば」と話している。

10月31日まで(月曜休館)。午前10時～午後5時。大人300円、学生100円。9月13日午後2時から「賀川ハルものがたり」の著者、鍋谷由美子さんによる特別講演会が開かれる(参加費500円が必要)。

問い合わせは同館(078・2221・3627)。